



# コロナの「入院調整」と kintoneの日々病床数入力の今後

調整グループ  
災害医療グループ（搬送調整班）  
2023年9月6日

# 1

kintone

## kintoneの日々病床数入力の方針

## 現状の整理

- コロナ患者を受け入れる病院は、G-MISに入院患者数や即応病床数、受入可能病床数(前日)等を、kintoneに当日受入可能病床数を入力することとなっている。
- kintoneの当日受入可能病床数を参照している「入院調整サポートシステム」は9月末で終了し、県救急医療中央情報センターも情報の参照元をセンター内のシステムに切り替える予定。

## 課題

- 受入可能病床の入力先が、G-MIS(前日時点)・kintone(入力時点)・県救急医療中央情報センター内システム(コロナ以外含む)の3か所にまたがり、病院にとって入力負担となる。
- 病院間の入院調整のために、kintoneの当日受入可能病床数を活用しているかの実態が不明である。なお、G-MISにも他院の受入可能病床を参照できる類似の仕組みが存在する。

## 方針案

- 病院にkintoneでの当日受入可能病床数の入力や活用状況のアンケートを実施
- アンケート結果を踏まえkintoneでの当日受入可能病床数の日々入力を9月末で終了するか検討したい

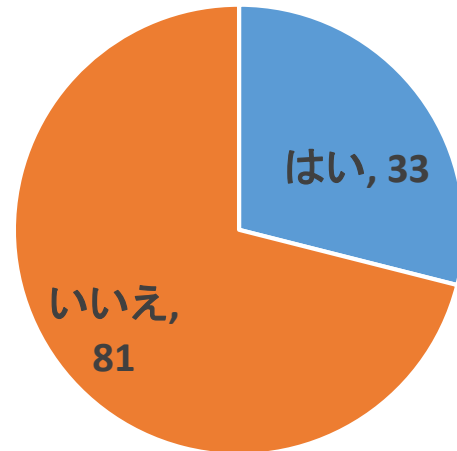
- 8月25日：医師会会議（方針案説明）
- 9月 1日：病院にアンケート実施（～13日）
- 9月 6日：病院協会会議（方針案説明）
- 9月中旬（予定）：医療機関等宛てに通知発出

# (参考) アンケート (kintone アプリ「コロナ患者受入可能病床の状況」の使用有無)

(問) 新型コロナの5類移行後、kintone アプリ「コロナ患者受入可能病床の状況」に入力された当日受入可能病床数の情報を業務で確認・活用したことがあるか。(n=114)

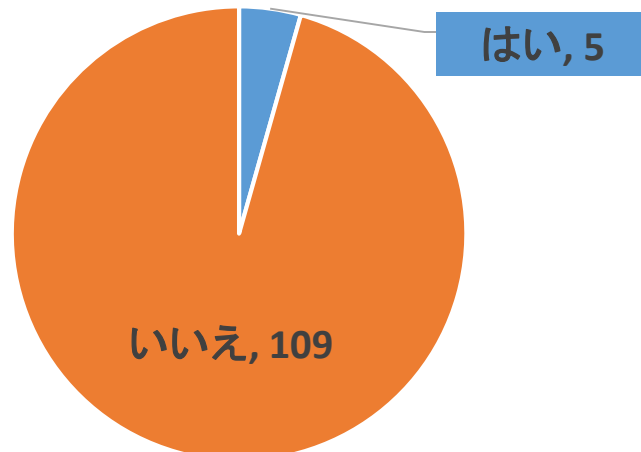
R5.9.5 13時時点

(件)



(問) 10月以降、日々の受入可能病床数の入力を終了し、kintoneアプリから県内病院の当日受入可能病床数を確認できなくなると、業務に支障があるか。(n=114)

- ・10月以降もG-MISで他院の受入可能病床を確認できます。
- ・自院調整が原則ですが、緊急入院が必要な患者で自院調整が不能だった場合は県救急医療中央情報センターへの相談も可。



支障の理由 (n=5) ※複数回答可	回答数
入院調整を行うために他院の空き病床を確認するため。	5
地域の受け入れ状況を確認し、自院の受け入れ体制の参考とするため。	1

## 2

Real & Policy

# 入院調整の利用状況と方針

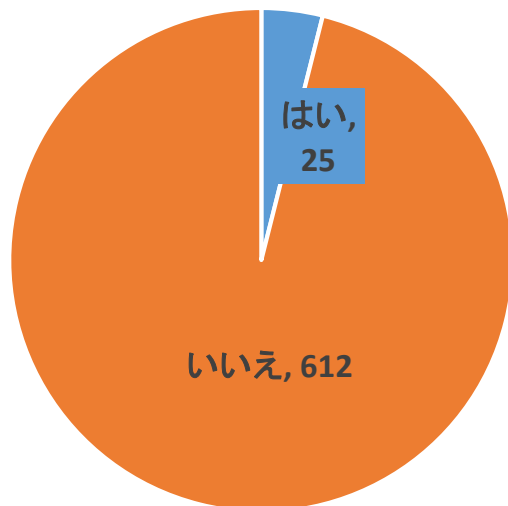
# 2-1: アンケート（上り入院調整サポートシステムの使用有無）

R5.9.5 13時時点

(問) 新型コロナの5類移行後、コロナ患者の入院先調整のため、「入院調整サポートシステム」を利用したことがあるか。(要旨)

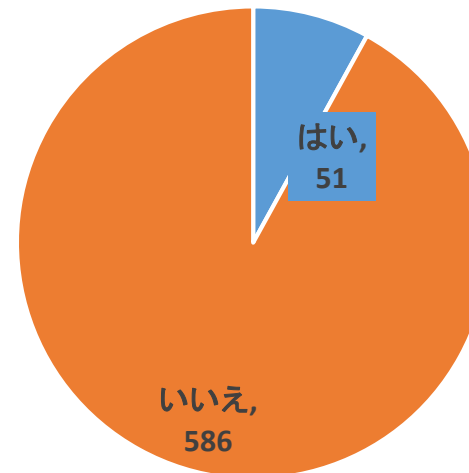
(n=637)

(件)



(問) 10月以降、「入院調整サポートシステム」が利用できなくなると、業務に支障がありますか。(要旨) (n=637)

- ・10月以降もG-MISで他院の受入可能病床を確認できます。
- ・自院調整が原則ですが、緊急入院が必要な患者で自院調整が不能だった場合は県救急医療中央情報センターへの相談も可。



参考「入院調整サポートシステム」のPV数  
6月: 29.2件/日 7月: 25.5件/日  
8月: 36.0件/日

※県救急医療中央情報センターや  
県搬送調整班のアクセス数を含む

## 支障の理由 (n=51) ※複数回答可

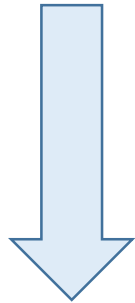
支障の理由	回答数
入院調整を行うために他院の空き病床を確認するため。	38
地域の受け入れ状況を確認し、自院の受け入れ体制の参考とするため。	19
自院で従来使っていた別のシステムがあるため	4

1

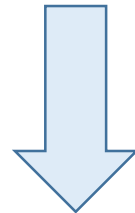
原則、医療機関同士で入院調整を実施

7/1~  
9/30

自院で調整先が  
見つからない場合

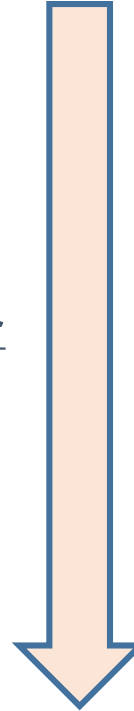


入院調整サポートシステム  
を利用



10/1~

自院で調整先が  
見つからない場合



2

県救急医療中央情報センターで対応

○受付時間：24時間 365日

## ■上り入院調整

- ・入院者数増の一方で「入院調整サポートシステム」の利用が低迷。
- ・医療機関アンケート(9月)での懸念点も、G-MISで機能の代替が見込めること
- ・医療機関アンケート(7月)で「入院需要時に医療機関連携で対応した」の回答が一定数あり、県の方針「原則、医療機関間の入院調整」がある程度定着していること。

🔔入院調整サポートシステムは9月30日で終了  
・「県救急医療中央情報センター」の対応も通常期対応化

○以下を周知予定

- ・医療機関間の調整の推進
- ・入院調整サポートシステムの終了



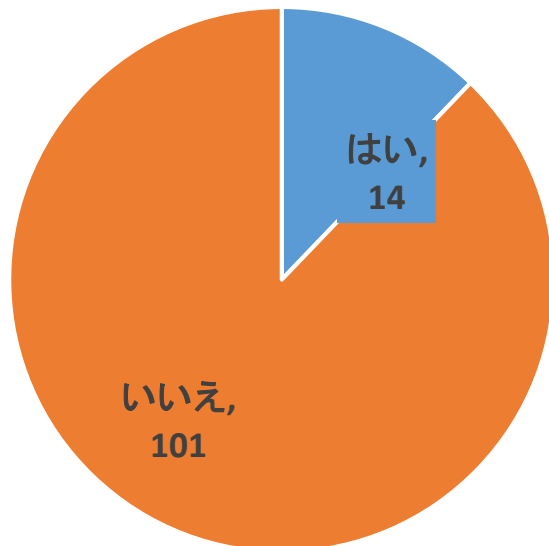
## 2-3: アンケート（下り入院調整サポートシステムの使用有無）

R5.9.5 13時時点

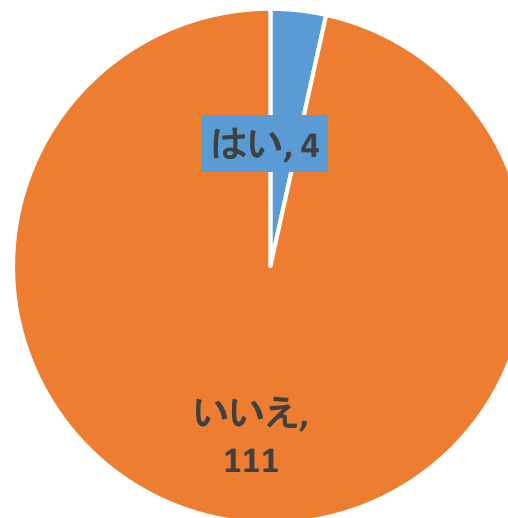
(問) 新型コロナの5類移行後、コロナが軽快した患者の転院先調整のため、「下り搬送調整」を利用したことがあるか。(要旨)

(n=115)

(件)



(問) 10月以降、「下り入院調整」が利用できなくなると、業務に支障がありますか。(n=115)



参考: 「下り入院調整」の最大対応件数(県庁)  
第8波 16.0件/日(2023年1月16日)  
第9波 1.0件/日(2023年8月3日)

### 支障の軽減策(n=4)※複数回答可

回答数

支障の軽減策[kintoneアプリに掲載している医療機関を電子データで参照できるとよい。]

4

毎日G-MISとkintoneに入力しているが、どちらか一方の入力で完結すると良い。

1

1

## 医療機関同士で転院調整を実施

～9/30

自院で調整先が見つからない場合

「下り搬送調整」kintone  
を使用

kintoneで見つけられなかった場合

下り搬送支援チーム  
(県窓口)へ連絡

10/1～



転院調整の完了

## ■後方支援入院調整（下り）

- ・「下り搬送調整」kintoneの顕著な利用低迷。  
→感染増の今夏においても利用の増加なし。
- ・アンケート(9月)においても利用少ない。
- ・医療機関アンケート(9月)での懸念点も、医療機関の電子データ化で機能の代替が見込めること

📌「下り搬送調整」のkintone及び「下り搬送支援チーム」の県窓口を9月30日で終了

- ・地域連携室による通常調整へ
- ・地域外(広域調整)で応需した患者の転院対応のため、神奈川モデルにおける協力病院一覧を電子化して配付(検討中)